

J:COMホール八王子（市民会館）

視点	施設名	評価項目	No.	6月			9月			12月			3月（年間）					
				所管課 評価	所管課 コメント	指定管理者 自己評価（コメント）	所管課 評価	所管課 コメント	指定管理者 自己評価（コメント）	所管課 評価	所管課 コメント	指定管理者 自己評価（コメント）	期末 評価	所管課 コメント	指定管理者 自己評価（コメント）			
施設の管理・運営を安定して行うことができるか	定量的	スキルアップ研修 3回/年	1	-	9月から11月にかけて実施する予定。	第一四半期での実績なし	-	年度末の数値をもって評価する。	8/14 清掃インスペクション管理者研修(2名参加) 9/7-8 高圧・特別高圧電気取扱業務特別教育講習(1名参加) 9/20 コンプライアンス・個人情報保護研修(15名参加) 9/27-28 全国劇場・音楽堂等職員舞台技術研修会(1名参加)	-		11/8 マナー接遇研修(12名参加) 11/8 サービス介助セミナー研修(13名参加) 11/10 受付職員対象マナー接遇研修(14名参加) 12/11 清掃インスペクション(1名参加)						
		甲種防火管理者、職長・安全衛生責任者教育修了者、第3級陸上特殊無線技士、上級救命技能認定者、サービス介助士、防災介助士、舞台機構調整技能士など、各資格取得者の適正配置をすともとに新規取得に努める。	2	B		事業計画書に沿って、適正に有資格者を配置している。 6/9 上級救命講習(1名新規取得)	B		事業計画書に沿って、適正に有資格者を配置している。 7/10 上級救命講習(1名新規取得)	B		事業計画書に沿って、適正に有資格者を配置している。						
		団体の経営方針が明確であり、きちんとした経理がされていること	3	B		管理業務の実施に係る固有の銀行口座を開設しているか【確認資料例：銀行口座】	4	B		資金の適正な管理と経理内容の明確化が図られているか【確認資料例：独立した会計帳簿】	5	B		利用料金、使用料の徴収は適正に行われているか【確認資料例：独立した会計帳簿・日報、月報・使用料等収納(徴収)事務委託契約書・銀行口座】	6	B		収支計画が適正に執行されているか【確認資料例：事業計画書(収支計画)・事業報告書】
	定性的	収支計画が適正であること	7	B		業務を実施するにあたり、適切な人員配置や育成がなされているか【確認資料例：事業計画書(人員配置計画)・事業報告書・研修報告書・実地調査】	8	B		給与の支出が適切に行われているか【確認資料例：給与規程・賃金台帳】	9	B		事業者の経営状況が健全な状態であるか【確認資料例：財務諸表・財務評価表】	10	B		業務の一括委託が行われていないか【確認資料例：第三者への一部事務委託に関する承諾書・事業報告書・実地調査・会計帳簿】
		管理運営がきちんとできる職員体制や研修体制がとれていること	11	B		各館技術担当者をメンバーに「ホール会議」を月1回WEB会議で行なっている。事故情報や運営の問題点等、常に最新の情報を共有し、J:COMホール八王子の管理運営に活かしている。	12	B		各館技術担当者をメンバーに「ホール会議」を月1回WEB会議で行なっている。事故情報や運営の問題点等、常に最新の情報を共有し、J:COMホール八王子の管理運営に活かしている。	13	B		健全な状態となっている。	14	B		適切に実施している。
		施設の管理運営を安定して行う能力を有しているか	15	B		適切に行っている。	16	B		適切に実施している。	17	B		健全な状態となっている。	18	B		適切に実施している。
		開館日数 350日/年	19	-	年度末の数値をもって評価する。	第一四半期 91日	-		第二四半期 92日(累計：183日)	-	年末の開館は、特にトラブルなく、無事終了した。	20	-		第三四半期 92日(累計：275日) ※年末休館日12/29～31に年末イベントを誘致し開館			
	施設の運営において公共性、公平性、公正性が図られているか	定量的	設備点検 26回/年(設備12回、舞台設備10回、消防設備2回、高所作業1回、ITV設備1回)	21	-	年度末の数値をもって評価する。	第一四半期 7回【設備3回、舞台設備3回(舞台2回、照明1回)、消防設備1回】	-		第二四半期 7回【設備3回、舞台設備3回(舞台2回、音響1回)、ITV設備1回】 累計：14回	-		第三四半期 6回【設備3回、舞台設備2回(舞台1回、照明1回)、高所作業1回】 累計：20回					
			ピアノ等備品点検 12回/年(ピアノ 保守点検2回、定期調律10回)	22	-	年度末の数値をもって評価する。	第一四半期 3回(調律3回) 試弾2回	-		第二四半期 3回 累計：6回(調律1回、点検2回) 試弾4回	-		第三四半期 3回 累計：9回(調律3回) 試弾2回					
			利用者が公平に施設利用ができるよう、配慮されていること	23	B		第一四半期は開館日数、開館時間ともに計画通り実施した。	B		第二四半期は開館日数、開館時間ともに計画通り実施した。	B	条例に規定する休館日の開館にあたり、適切な事務手続きがなされていた。	第三四半期は、事前に市と協議し承認を得て、12月29日～31日の年末休館日にイベントを誘致し開館した。開館時間は計画通り実施した。					
定性的		減免の申請手続がなされた場合、適正に処理されているか(※該当の場合)【確認資料例：減免申請書・事業報告書・減免申請に係る帳簿】	24	-		第一四半期での実績なし	-		第二四半期での実績なし	B	減免申請書等を確認し、適切に対応していることを確認した。	第三四半期 1件(12/9ホール：NPO法人しあわせのたね) 適正に処理している。						
		文書の管理・保存が適切に行われているか【確認資料例：ファイル基準表(なければそれに準ずるもの)・実地調査】	25	B		ファイル基準書を作成し、継続的に文書の管理・保存に努めている。	B		ファイル基準書を作成し、継続的に文書の管理・保存に努めている。	B		ファイル基準書を作成し、継続的に文書の管理・保存に努めている。						
		施設の公共性、公平性について継続性が保たれているか	26	A		新型コロナウイルスの感染状況を踏まえ、清掃方法を見直し、施設をより安全で快適に利用してもらえよう工夫している。指定管理者のノウハウを活かした取組であり評価できる。	B	舞台や設備機器に精通している指定管理者の強みを活かして、令和6年度に行うべき予防保全箇所を市に提案していた。	B	年度初めに提案した修繕計画に沿って、適宜設備メーカーと連携を取り、翌年度以降の修繕に向けて準備を進めている。舞台機構、照明、音響機器についても、引き続き市担当部署および保守業者等と密に連携し、情報交換を行っている。設備・舞台ともに、現時点での機器状況を基に、令和6年度予算編成用に予防保全追加案を市へ提出した。	A	直上階の屋上緑化から植物の種が飛来している状況を確認し、適切な管理ができるよう、手入れ時期の見直しを検討している。現場を熟知しているからこそ対応で、積極的に改善しようとする姿勢を評価したい。		引き続き年度初めに提案した修繕計画に沿って、適宜設備メーカーと連携を取り、翌年度以降の修繕に向けて準備を進めている。ホールの利用率が高いことから、特に工期の確保が難しく、関係各社にヒアリングを行うなど調整を続けている。また、7階テラス植栽管理の来年度実施計画を委託先と検討している。				
		備品の管理が適切に行われているか【確認資料例：備品台帳・実地調査】	27	B		日常業務の中で、適切に管理している。	B	備品のティンパニーに不具合が生じたが、適切に対応していた。	B	日常業務の中で、適切に管理している。 ※ティンパニーの修繕を実施。今後、定期的なメンテナンスも検討している。	B		日常業務の中で、適切に管理している。					
		備品の管理が適切に行われているか【確認資料例：備品台帳・実地調査】	28	B		日常業務の中で、適切に管理している。	B	備品のティンパニーに不具合が生じたが、適切に対応していた。	B	日常業務の中で、適切に管理している。 ※ティンパニーの修繕を実施。今後、定期的なメンテナンスも検討している。	B		日常業務の中で、適切に管理している。					

令和5年度モニタリングシート【J:COMホール八王子】

視点	評価項目	No.	6月			9月			12月			3月(年間)		
			所管課 評価	所管課 コメント	指定管理者 自己評価(コメント)	所管課 評価	所管課 コメント	指定管理者 自己評価(コメント)	所管課 評価	所管課 コメント	指定管理者 自己評価(コメント)	期末 評価	所管課 コメント	指定管理者 自己評価(コメント)
施設のサービス向上、利用者数の増加等を図る方策が図られているか	利用者数 16万人/年	施設来場者数の増加を図る。	19	-	年度末の数値をもって評価する。	77,603人	-	8月に1週間、ダンス大会での利用があったこともあり、施設来場者数が増加した。	86,600人 (累計:164,203人)	-	コロナ禍前以上に利用者数は増えているとの報告があった。	84,170人 (累計:248,373人)		
	時間延長利用件数 100件/年	市民サービス・興行利用等への対応	20	-	年度末の数値をもって評価する。	40件	-		33件 (累計:73件)	-		49件 (累計:122件)		
	興行系公演の誘致活動 30件/年	鑑賞機会の提供と市民の興味を喚起する。	21	-	年度末の数値をもって評価する。	9件	-		11件 (累計:20件)	-		12件 (累計:32件)		
	舞台人件発注件数 (ワンストップサービス) 20件/年	ワンストップサービス~サービス窓口の一元化による利用者の利便性の向上を図り、催し物の内容に応じて特に専門性の高い舞台人件等の利用者要望に対応する。	22	-	年度末の数値をもって評価する。	2件	-		7件 (累計:9件)	-		7件 (累計:16件)		
	ホームページアクセス件数 30万件/年	八王子市民会館に適した特徴のあるホームページとするとともに、効果的な運営を行う。	23	-	年度末の数値をもって評価する。	107,238件	-		94,200件 (累計:201,438件)	-		71,773件 (累計:273,211件)		
	利用者満足度 90%/年	施設利用者の満足度の向上を図る。	24	-	年度末の数値をもって評価する。	100.0%	-		100.0% (累計:100.0%)	-	61件中、1件無回答、1件不満との回答であった。不満と回答した方は、PR方法や手続きを不満としたようである。	96.7% (累計:98.6%)		
	指定管理者が行う自主事業の参加者満足度 80%/年		25	-	年度末の数値をもって評価する。	第一四半期での実施なし	-	夏休みに合わせて行う事業が多いため、開催が第二四半期に集中した。避難訓練体験コンサートは、250枚回収中、満足との回答が200枚で、50枚は無回答であった。	7/27 化石を探そう!?:100.0% 7/28 バックステージツアー:100.0% 8/22 SEASON'Sコンサートvol.7:90.0% 8/30 第10回避難訓練体験コンサート:80.0% (累計:83.5%)	-	いずれも無回答を集計に含めているため、満足度の率が下がったものである。	11/25 響き渡るワタシvol.15:88.9% 12/4 SEASON'Sコンサートvol.8:78.7% 12/4 化石を探そう!?:100.0% (累計:83.1%)		
指定管理者が行う参加型事業への参加者数 1,500名/年		26	-	年度末の数値をもって評価する。	第一四半期での実施なし	-		7/27 化石を探そう!?:28名 7/28 バックステージツアー:14名 8/22 SEASON'Sコンサートvol.7:78名 8/30 第10回避難訓練体験コンサート:281名 (累計:401名)	-		11/25 響き渡るワタシvol.15:13名 12/4 SEASON'Sコンサートvol.8:63名 12/4 化石を探そう!?:6名 (累計:483名)			
利用者からの苦情処理の体制がとれていること	利用者等からの相談及び苦情に適切に対応しているか【確認資料例:相談、苦情をまとめた整理帳簿】	27	-		第一四半期では利用者等からの相談、苦情は無かった。	B	利用者からの連絡を受け、すぐ対応し修繕した。令和6年度からは、定期的に点検することとし、予算の確保を予定している。	ホールご利用のお客様より、「ティンパニーのペダルが止まらない」とのご意見をいただいた。専門業者に連絡し、翌日には修繕を実施した。	-		第三四半期では利用者等からの相談、苦情は無かった。			
て行施 いわ設 るれ か の効 率 的 な 管 理 が ・ 運 営 が	利用料金収入 125,960千円/年		28	-	年度末の数値をもって評価する。	38,116千円	-		40,653千円 (累計:78,769千円)	-		39,186千円 (累計:117,955千円)		
事業の達成目標が明確で、具体的な事業計画に基づいて事業が行われているか	地域連携事業 10件/年	地域活動や地域産業と連動したイベントなどへの協力	29	-	年度末の数値をもって評価する。	1件 市内中学校の職場体験の受け入れ	-		4件 市内中学校の職場体験の受け入れ(2件)、町内会の清掃活動、市内花火大会への協賛	-		5件 市内中学校の職場体験の受け入れ(2件)、町内会の清掃活動、日本工学院八王子専門学校卒業ライブ体験授業受け入れ、八王子いちよう祭りへの協賛		
	チケット販売割合 45%/年 (販売枚数を全体の取り扱い枚数で除して算出する)	(公財)八王子市学園都市文化ふれあい財団へのチケット販売協力	30	-	年度末の数値をもって評価する。	39.1%	-		53.9% (累計:46.4%)	-		66.5% (累計:53.5%)		
	市民優先枠利用団体 60団体/年	八王子の市民団体に優先的に利用してもらえるよう抽選会に市民枠を設定	31	-	年度末の数値をもって評価する。	19団体	-		13団体 (累計:32団体)	-	10月は市内小中学校の音楽祭等の利用が集中するため、平日はほぼ市民利用である。	24団体 (累計:56団体)		
	市民利用(一般利用) 70%/年	市民利用増加の方策を講じる。	32	-	年度末の数値をもって評価する。	55.2%	-		57.3% (累計:56.3%)	-		74.7% (累計:63.1%)		
	鑑賞事業への来場割合 70%/年 (来場者数を使用座席数で除して算出する)	鑑賞機会の提供と市民の興味を喚起する。	33	-	年度末の数値をもって評価する。	83.7%	-		79.8% (累計:81.2%)	-		74.4% (累計:79.0%)		
	施設の日数利用率 90%/年	八王子市民会館利用の誘致・拡大を図る運営を行う。	34	-	年度末の数値をもって評価する。	82.5%	-		100.0% (累計:91.0%)	-		94.0% (累計:92.0%)		

令和5年度モニタリングシート【J:COMホール八王子】

視点	評価項目	No.	6月			9月			12月			3月(年間)		
			所管課 評価	所管課 コメント	指定管理者 自己評価(コメント)	所管課 評価	所管課 コメント	指定管理者 自己評価(コメント)	所管課 評価	所管課 コメント	指定管理者 自己評価(コメント)	期末 評価	所管課 コメント	指定管理者 自己評価(コメント)
事業の達成目標が明確で、具体的な事業計画に基づいて事業が行われているか	本市の文化芸術振興に向けた管理運営がされていること	35	B	「バックステージツアー」は初めての取組だが、舞台スタッフを中心に検討している。「化石を探そう!」では、本年度も国立科学博物館から講師を招き、参加者により楽しんでもらえる内容を計画している。いずれについても、実施を楽しみたい。	今年度も自主事業として7月開催予定の「J:COMホール八王子で化石を探そう!」や新規事業「バックステージツアー」、8月開催予定の「避難訓練体験コンサート」の開催に向けて準備を進めている。「化石を探そう!」では引き続き、国立科学博物館から講師をお招きし、化石の解説やワークショップ等を企画している。	A	子どもたちにとってホールがより身近なものとなるよう企画内容を検討した。アンケート結果では好評を得ており、文化芸術ビジョンの「そでてる」「つたえる」につながるものとして評価したい。	今年度も引き続き、7/27に「J:COMホール八王子で化石を探そう!」を開催。国立科学博物館から講師を招き、小中学生を対象にしたワークショップとして、化石のレプリカ作りや解説を行った。7/28には小学生を対象に「夏休みバックステージツアー」を開催。ホールをより身近に感じてもらえるように、舞台スタッフ付き添いの下、一般の方は普段見ることのできない舞台の裏側見学や、音響・照明機材の操作などを体験してもらった。アンケートでは「色々な技術を見ることができて楽しかった。また参加したい」という声を多数いただき好評だった。	A	ポスター展は、J:COMホールを周知する恒例の催しであるが、今回は八王子にゆかりのあるアーティストの公演ポスターにわかりやすく説明書きを加えて展示し、アンケート結果は良好であった。また、「響き渡るワタシ」は初めて学園都市センターと連携し、好評を得た。いずれも好意的な姿勢を評価したい。	10/22～11/2に南口総合事務所サイン入りポスター展を行い、298名に来場いただいた。鑑賞事業への関心を高めるとともに、ホールの周知を図ることができた。11/25には学園都市センターと合同で「響き渡るワタシvol.15」を開催。学園都市センターとJ:COMホールの2館を巡ってもらい、各館の響きの特性を体感してもらうねらいで実施した。初めての試みとなったが、参加者からは「楽器とホールの違いがよく分かり、面白かった」と好評だった。12/4には「化石を探そう!」を開催し、ホワイエの一般開放を行った。資料内容のアドバイスや来場者対応等で、コニカミノルタサイエンスドームの小岩氏に協力いただいた。			
		36	B	「響き渡るワ・タ・シ」はホールのスタインウェイのピアノを演奏できる機会を提供するものだが、実施方法を工夫し、様々な層にアプローチするよう試みている。今回は学園都市センターと連携することとして、準備を進めている。結果に期待したい。	今年度は自主事業「響き渡るワ・タ・シ」を学園都市センターとの共同開催を目指し、連携しながら準備を進めている。また、今年度も「SEASON'Sコンサート(ロビーコンサート)」の実施を予定している。	A	「SEASON'Sコンサート」では、財団のノウハウを活かして楽器に触れられる機会を提供し、子どもたちから好評を得た。また、避難訓練体験コンサートのアンケート回答者に抽選でチケットを進呈する企画は、財団の発案により実施し、回答者数が増加した。財団との連携が効果をもたらしており、評価したい。	A	学園都市センターと合同開催の「響き渡るワタシ」は、広報面でも連携し、新規参加者の獲得につながった。また、J:COMホールの自主事業「響き渡る」のチケット販売を、今回新たに南大沢文化会館、学園都市センターでも行い、それぞれ100枚程度販売するなど、利便性を高めた。財団との連携が深まっており、評価できる。	12/4に「SEASON'Sコンサートvol.8 クリスマスコンサート(ロビーコンサート)」を実施した。(「化石を探そう」と同日開催)今回はサクソ、ギター、ベースの編成でジャズを演奏した。学園都市センターと合同開催した11/25の「響き渡るワタシvol.15」では、学園都市センターのSNSアカウントでも事業の告知を行っていた。また、2月に開催予定の自主事業「響き渡る」吹奏楽の響演では、財団に協力いただき、これまでのJ:COMホール窓口のみでのチケット販売に加え、南大沢文化会館、学園都市センターの窓口でも販売を行い、購入者の利便性向上を図った。				
		37	A	「環境にやさしい八王子市役所エコアクションプラン」及び「八王子市役所環境マネジメントシステム」に基づく、環境に配慮した管理・運営が行われているか【ヒアリング等で確認】	クリアファイルやクリップペンシルなどの不用品が多く生じているところ、消毒のうえりユースにつなげている。ちよごみの減量に向け積極的に取り組んでおり、評価したい。	利用者がアンケート等で使用し、不用となったクリップペンシルや、郵送された書類に付随するクリアファイルをリユースするとともに、使用済み切手を市を通じて社会福祉協議会に提供し、活用を図っている。引き続きごみの分別は徹底して行い、利用者が排出したごみについても分別を依頼して資源化を図っている。また、裏紙として使用可能である紙は、専用の棚を設け再利用している。会議で使う資料は必要最低限にし、枚数が多いものは1部作成して、必要なら回覧するようにしている。環境への配慮として、職員はマイカップ・マイボトル等の活用も心掛けている。	B	環境マネジメントシステムの取組は全職員に浸透しており、指定管理事業における環境に配慮した取組を日常的に当たり前のこととして行っている。引き続きごみの分別は徹底して行い、利用者が排出したごみについても分別を依頼して資源化を図っている。また、裏紙として使用可能である紙は、専用の棚を設け再利用している。会議で使う資料は必要最低限にし、枚数が多いものは1部作成して、必要なら回覧するようにしている。環境への配慮として、職員はマイカップ・マイボトル等の活用も心掛けている。	B	環境マネジメントシステムの取組は全職員に浸透しており、指定管理事業における環境に配慮した取組を日常的に当たり前のこととして行っている。引き続きごみの分別は徹底して行い、利用者が排出したごみについても分別を依頼して資源化を図っている。裏紙として使用可能である紙は、専用の棚を設け再利用している。会議で使う資料は必要最低限にし、枚数が多いものは1部作成して、必要なら回覧するようにしている。環境への配慮として、職員はマイカップ・マイボトル等の活用も心掛けている。また、保管期限を経過した廃棄資料(溶解処分予定)及び産廃の回収を行い、廃棄物からファイル、クリップ等の再利用用品の分別を実施した。				
資源の有効活用など環境に配慮した管理運営がされていること	エネルギーの使用削減施策は実施しているか【ヒアリング・資料等で確認】	38	A	すでに様々な省エネ施策を講じているが、工夫して更なる削減を目指している。指定管理者が持つノウハウを存分に活かしており評価したい。	前年度に計画・立案した「4階特定管理部分の照明点灯時間の見直し」の結果、今年度年間約5,400kwの削減が可能となった。新型コロナウイルスが5類感染症に移行したことを受け、空調機設定値・運転時間の見直しを行った。また、5階・7階ホワイエにおいて、天候にあわせてロールスクリーンを操作し省エネへ対応している。空調は毎日タイマーを設定し、貸館の状況に応じてON・OFFを設定することで無駄なく稼働させている。空調をはじめ照明は手動でも細かく操作し、不要な箇所は切るようにしている。	A	これ以上の省エネは難しいレベルまで取り組みを進めているが、細かな確認、見直しにより、さらなるエネルギーの使用削減につなげている。指定管理者の強みを活かした取組であり、評価したい。	A	今年度より開始した「4階特定管理部分の照明点灯変更」の第一四半期の結果から、電力量の高い照明を間引くなど、更に改善可能であることが確認出来たため、再度見直しを行った。その結果、さらに約2,500kwの削減が可能となった。5階・7階ホワイエにおいて、天候にあわせてロールスクリーンを操作し省エネへ対応している。空調は毎日タイマーを設定し、貸館の状況に応じてON・OFFを設定することで無駄なく稼働させている。空調をはじめ照明も手動でも細かく操作し、不要な箇所は切るようにしている。	A	さらなる省エネにつなげるため、楽屋や通路に設置のロールスクリーンの運用を見直した。常に改善に向けた意識をもって取り組んでおり、評価したい。	空調と照明は貸館の状況に応じて手動で細かく操作し、不要な箇所は切り、無駄なく稼働させている。また、5階・7階ホワイエにおいて、天候にあわせてロールスクリーンを操作し省エネへ対応している。楽屋通路、各楽屋内でもロールスクリーンを活用し、空調の効果を高めるとともに、主催者利用の各室空調機設定温度範囲を18～26℃に固定し、省エネを図っている。		
		39	-	ヒアリングでは、8月に実施予定との報告があった。	第一四半期での実施なし	-	年度末の数値をもって評価する。	8/21 サザンスカイトワー八王子防災訓練参加(部分訓練) 8/30 避難訓練体験コンサートの実施(総合訓練)	-	第四四半期で2回訓練を行う予定であり目標は達成できる見込みである。				
		40	-	ホールを安心してご利用いただけるよう、研修を行い、危機管理意識を高める。	4/27 防災図上研修(15名参加) 6/1 公共建築物日常点検等研修会(1名参加) 6/19 ハロゲン消火設備・舞台スプリンクラー動作説明会(6名参加)	-	労働安全衛生規則の改正を受け、トラックの昇降設備使用時のヘルメット着用などについて利用者に周知できるよう、研修を行った。法改正を捉え適切に対応している。	-	9/20 舞台安全研修(15名参加)	-	10/17 ビル衛生管理講習会(1名参加) 11/14 建築物衛生管理講習会(1名参加)			
個人情報の取り扱いが適切であること	個人情報の適切な管理のため必要な措置が講じられているか【確認資料例：マニュアル・事業計画書(事業計画)・事業報告書】	41	B	個人情報の適切な管理のため必要な措置が講じられているか【確認資料例：マニュアル・事業計画書(事業計画)・事業報告書】	情報の徹底管理を継続して実施した。市や事業体各社から提供される情報を全職員で共有し、意識の向上に努めている。また、各パソコンにパスワードを設定、個人情報記載された書類は鍵をかけて保管(鍵は館長が保管)している。さらに、事務所内の関係者以外の無断入室を禁止している。	B	引き続き、情報の徹底管理を継続して実施した。市や事業体各社から提供される情報を全職員で共有し、意識の向上に努めている。また、各パソコンにパスワードを設定、個人情報記載された書類は鍵をかけて保管(鍵は館長が保管)している。さらに、事務所内の関係者以外の無断入室を禁止している。	B	情報の徹底管理を継続して実施した。市や事業体各社から提供される情報を全職員で共有し、意識の向上に努めている。また、各パソコンにパスワードを設定、個人情報記載された書類は鍵をかけて保管(鍵は館長が保管)している。さらに、事務所内の関係者以外の無断入室を禁止している。					
		42	B	指定管理者が加入しなければならない保険に加入しているか【確認資料例：保険証券】	本年度も各種保険に加入した。第一四半期での保険適用の案件は発生しなかった。	B	第二四半期での保険適用の案件は発生しなかった。	B	第三四半期での保険適用の案件は発生しなかった。					
		43	A	緊急(防火・防犯等)対応等危機管理体制が取られていること	8月開催予定の自主事業「避難訓練体験コンサート」に向けて、引き続き東北工業大学及び早稲田大学と連携しながら、より実践的・効果的な誘導員の配置について検討していく。防災図上研修では非常事態における対応や報告フロー、避難経路等の再確認を行い、災害時の誘導・避難がスムーズに行えるよう努めている。また、メーカーよりAEDの使い方の説明会も行っていただいた。引き続き、コロナ対策として除菌の効果がある洗剤「Q128」「ウルトラサイドRTU」「ハイゼニック除菌クリーナー」を継続使用中。4階特定管理部分の照明点灯計画見直しを行った結果、EV1・EV2前のエリアが停電時に照明不点灯となることを発見し、設定を変更することで停電時の照明点灯が可能となった。	A	火災発生時の発報箇所確認用の早見図は、事務所の操作盤に備え、迅速な対応を図るものである。避難訓練体験コンサート時に確認したところ、改善の余地があることが判明したため、直ちに改善した。訓練の内容も毎回設定を変えるなど工夫しており、評価できる。	A	8/21にサザンスカイトワー八王子の防災訓練に参加し、緊急時の危機管理体制について再確認した。8/30には第10回避難訓練体験コンサートを開催し、281名の方に訓練に参加いただいた。今回は米国防空軍太平洋音楽隊「ジョシフィック・ジョークス」協力の下、演奏中と終演時の2回地震が発生したとの想定で実施した。今後、アンケート等でのご意見をもとに、より一層利用者が来場者が安全で安心してご利用いただけるホール運営に努める。また、火災発報時、迅速な対応を可能にする為、発報箇所確認用の「早見図」の精度を上げた。引き続き、コロナ対策として除菌の効果がある洗剤「Q128」「ウルトラサイドRTU」「ハイゼニック除菌クリーナー」を継続使用中。	A	避難訓練体験コンサートの振り返りや関係者間で情報を共有する報告会を開催した。誤った経路で避難した方への対応や、足が不自由な方の誘導について話し合い、改善策を検討した。また、羽田空港での飛行機事故を受け、スタッフ間で避難誘導や経路について改めて共有した。緊急時の対応に向け、積極的に意識を高めており、評価できる。	12/22に早稲田大学人間科学部佐野研究室と東北工業大学ライフデザイン学部富山研究室による、第10回避難訓練体験コンサート報告会を実施した。(市役所1名、八王子消防署1名、防災士の方の誘導について話合い、改善策を検討した。また、羽田空港での飛行機事故を受け、スタッフ間で避難誘導や経路について改めて共有した。緊急時の対応に向け、積極的に意識を高めており、評価できる。		